

TPP交渉に関する若手農業者緊急要請

平成27年7月16日
全国農協青年組織協議会

TPP交渉に関して、7月末の閣僚会合での大筋合意が目指されていると報道されている。米の特別輸入枠の設定や牛肉・豚肉・乳製品の大幅な関税削減等が伝えられており、我々若手農業者は、国会決議が遵守されたとは到底言えないとの思いで一致している。

安全・安心な食料を国民に供給し、日本の国土を守り、次世代に持続可能な農業・農村をつなぐという責任を果たすため、我々若手農業者は、政府・政党に対し、あらためて下記の事項を強く要請する。

記

- 一 農林水産物の重要品目の取り扱いや食の安全にかかる事項について、若手農業者が納得できる最低限の水準である国会決議を確実に遵守すること。
- 一 TPPは農林水産業だけではなく、国民生活全般に影響する事項を含むため、国民の知る権利を守る観点から交渉内容にかかる説明責任を果たすこと。

以上